

平成22年7月5日（月）

独立行政法人労働政策研究・研修機構
（理事長 稲上毅）

担当：雇用戦略部門 副統括研究員 大塚崇史
（電話）03-5903-6252
URL: <http://www.jil.go.jp>

「高齢者の雇用・就業の実態に関する調査」結果

- ・ 高齢者（55～69歳）の就業率は、男性が72.2%、女性が48.5%。男性では60～64歳で75.1%、65歳～69歳でも52.0%と過半。
- ・ 年金受給者の就業率は、60～64歳で男性が69.4%、女性が43.6%、男性では65～69歳でも約5割。
- ・ 生涯現役希望は男女とも約3割。引退を考えたことがある者の引退希望年齢は、男女ともに1位が「65歳」、2位が「70歳」で、男性が平均66.3歳、女性が平均65.5歳。
- ・ 定年・退職後の希望は、正社員、フルタイム、定年・退職時と同じ企業・同じ仕事が多いが、実際の状況とギャップあり。
- ・ 定年制について「60歳より上の定年年齢希望」が過半数、「定年廃止希望」も2割弱。「60歳より上の定年年齢希望」のうち望ましい定年年齢は、「65歳」が8割程度、それより上も1割程度。

調査結果のポイント

< 1 . 高齢者の就業の状況 >

- ・ 55歳以上69歳までの高齢者の就業率は、男性が72.2%、女性が48.5%であり、男性では60～64歳で75.1%、65～69歳でも52.0%と過半を占める。
不就業者のうち就業希望率は、男性が45.8%、女性が23.3%であり、男性では60～64歳で46.1%、65～69歳でも36.9%を占める。（p. 6、表1）

< 2 . 就業者の状況 >

- ・ 就業者の従業上の地位は男女とも「雇用者」の割合が最も多く、男性では順に「雇用者」が63.2%、「自営業主」が21.5%、「会社経営、役員等」が10.1%、女性では順に「雇用者」が64.6%、「自営業主」が12.5%、「家業（自家営業）の手伝い」が11.9%である。
年齢階級が高くなると、男女とも「雇用者」が最多ではあるが減少し、「自営業主」、「シルバー人材センターを通じた仕事」及び「家業（自家営業）の手伝い」が増加する。また、男性では「任意に行う仕事」、女性では「会社経営、役員等」が増加する。（p. 7、表2）。
- ・ 就業者が仕事をした理由（複数回答）は、男性では順に「経済上の理由」が78.7%、「いきがい、社会参加」が19.6%、「健康上の理由」が10.8%で、女性では順に「経済上の理由」が64.4%、「いきがい、社会参加」が26.1%、「時間に余裕」が17.8%である。

男女とも、「経済上の理由」は年齢階級が高くなるほど減少し、「健康上の理由」、「頼まれたから」が増加する。男性では年齢階級が高くなるほど「いきがい、社会参加」、「時間に余裕」が増加するが、女性では横ばいに近い。(p. 8、表3)

「経済上の理由」の内訳は、各年齢階級、男女とも「自分と家族の生活を維持」が最も多い。(p. 8、表4)

< 3 . 雇用者の状況 >

- ・ **就業者のうち雇用者の雇用契約期間**は、男性では順に「特に定められていない」が59.5%、「1年」が17.1%、「1年を超え5年以内」が13.0%で、女性では順に「特に定められていない」が65.4%、「1年」が15.5%、「1ヶ月を超え1年未満」が8.1%である。

男性では60～64歳、65～69歳のいずれの年齢階級も55～59歳に比べ「特に定められていない」の割合が大幅に下回り、「1年」の割合が大幅に上回るが、女性では男性ほど年齢階級による大きな変化はない。(p. 10、表6)

- ・ **雇用者の勤務形態**は、男性では「普通勤務」が70.6%と圧倒的で、「1週間当たりの勤務日数が少ない」が8.5%、「1日当たりの労働時間が短い」が6.4%、女性では「普通勤務」が36.9%で最多であるが他との差が縮まり、「1日当たりの労働時間が短い」が23.4%、「1日当たりの労働時間が短く、1週間当たりの勤務日数も少ない」が20.3%である。

男女とも年齢階級が高くなるほど、「普通勤務」は減少し、「1週間当たりの勤務日数が少ない」及び「1日当たりの労働時間が短く、1週間当たりの勤務日数も少ない」が増加する。「1日当たりの労働時間が短い」は、男性では年齢階級が高くなるほど増加するが、女性では横ばいである。

「フレックス勤務」は男性の60歳以上や女性で4～6%台で、「在宅勤務」は男女とも僅少である。(p. 11、表7)

< 4 . 不就業者の状況 >

- ・ **不就業者のうち就業希望者が仕事に就けなかった主な理由**は、男性では順に「適当な仕事が見つからなかった」が47.7%、「あなたの健康上の理由」が28.9%、「請負や内職の仕事の注文がこなかった」が8.8%で、女性では順に「適当な仕事が見つからなかった」が35.1%、「あなたの健康上の理由」が25.1%、「家族の健康上の理由」が20.4%、「家庭の事情」も13.2%と10%を超える。

男女ともいずれの年齢階級でも「適当な仕事が見つからなかった」が最も多いが、特に60～64歳で著しい。「あなたの健康上の理由」は、男性では55～59歳で最も高い割合であるのに対し、女性では年齢階級が高くなるほど増加する。(p. 12、表8)

- ・ **適当な仕事が見つからなかった就業希望者が最も希望する働き方**は、男性では「普通勤務で会社などに雇われたい」が最多で45.5%、次いで僅差で「短時間勤務で会社などに雇われたい」が41.7%、「近所の人や会社などに頼まれて任意に行う仕事をしたい」は6.4%と激減するが、女性では「短時間勤務で会社などに雇われたい」が圧倒的で57.7%を占め、次いで「普通勤務で会社などに雇われたい」が15.8%、「近所の人や会社などに頼まれて任意に行う仕事をしたい」が14.4%である。

男性では55～59歳は「普通勤務で会社などに雇われたい」が84.7%と最多だが、60～64歳、65～69歳では「短時間勤務で会社などに雇われたい」が最多でそれぞれ50.6%、48.5%である。女性ではいずれの年齢階級でも「短時間勤務で会社などに雇われたい」が最多だが、年齢階級が高くなるほど「近所の人や会社などに頼まれて任意に行う仕事をしたい」が増加し、65～69歳では26.4%である。(p. 13、表9)

< 5 . 高年齢者の生活、年金受給等の状況 >

- **生活の主な収入源**は、男性では「あなたの賃金等収入」が 47.6%と半数近くを占め、次いで「あなたの年金収入」が 27.3%、「自営業などの事業収入」が 10.8%で、女性では「配偶者の年金収入」が 31.9%と最多で、次いで「配偶者の賃金等収入」が 27.7%、「あなたの賃金等収入」が 11.0%、「あなたの年金収入」が 8.4%である。

男性では「あなたの賃金等収入」が 60～64 歳で 5 割を下回り、65～69 歳では「あなたの年金収入」が最多となり、女性では 55～59 歳では「配偶者の賃金等収入」が最多だが 60 歳以上では「配偶者の年金収入」が最多となる。「自営業などの事業収入」は男女とも各年齢階級でほぼ横ばいで 10%前後である。(p. 14、表 10)

- **公的年金を受給している割合**は、男性が 60～64 歳で 63.3%、65～69 歳で 94.6%、女性が 60～64 歳で 61.8%、65～69 歳で 91.4%である。受給者の就業率は、男性が 60～64 歳で 69.4%、65～69 歳で 50.8%、女性が 60～64 歳で 43.6%、65～69 歳で 34.3%である。年金を受給していない者の就業率は、男性が 60～64 歳で 85.5%、65～69 歳で 72.6%、女性が 60～64 歳で 51.8%、65～69 歳で 35.2%である。(p. 15、表 11)

- **肉体的な面から見た就業の可能性**は、男性では「フルタイムで働くことが可能である」が最多で 54.9%、次いで「職場・勤務の条件によっては就業可能である」が 36.3%、「働くことはできない」が 7.4%で、女性では「職場・勤務の条件によっては就業可能である」が最多で 49.6%、次いで「働くことはできない」が 27.1%、「フルタイムで働くことが可能である」が 20.9%である。

男性では 55～59 歳、60～64 歳では「フルタイムで働くことが可能である」が最多だが、65 歳～69 歳では「職場・勤務の条件によっては就業可能である」が最多となる。女性ではどの年齢階級でも「職場・勤務の条件によっては就業可能である」が最多だが、60～64 歳で「働くことはできない」が急増し、65～69 歳では「働くことができない」が 41.1%で首位の「職場・勤務の条件によっては就業可能である」の 45.2%と接近する。(p. 17、表 13)

- **就業からの引退について**、男性では順に「引退を考えたことがある」が 43.8%、「年齢に関係なくいつまでも働きたい」が 33.2%、「すでに仕事を辞めている」が 18.7%で、女性では順に「すでに仕事を辞めている」が 36.6%、「年齢に関係なくいつまでも働きたい」が 27.5%、「引退を考えたことがある」が 26.2%である。

男性では 55～59 歳、60～64 歳では「引退を考えたことがある」が最多だが、65～69 歳では「すでに仕事を辞めている」、「引退を考えたことがある」、「年齢に関係なくいつまでも働きたい」の順で三者はほぼ横並びとなる。女性では 55～59 歳では「引退を考えたことがある」が最多だが、60～64 歳、65～69 歳では多い順に「すでに仕事を辞めている」、「年齢に関係なくいつまでも働きたい」、「引退を考えたことがある」となる。

「65 歳以上まで働きたい」割合は約 6 割で、男性では約 7 割に達する。(p. 18、表 14)

- **引退を考えたことがある者の引退希望年齢**は、男性では順に「65 歳」が 42.5%、「70 歳」が 29.1%、「60 歳」が 10.2%で平均は 66.3 歳、女性では順に「65 歳」が 40.0%、「70 歳」が 23.9%、「60 歳」が 14.4%で平均は 65.5 歳である。(p. 19、表 15)

< 6 . 定年・退職後の就業希望と就業状況 >

- **55 歳以降の最初の定年・退職後の就業希望と実際の就業状況を比較**すると、
勤務先、仕事内容については、「定年・退職時と同じ企業」、「定年・退職時と同じ仕事」の実際の割合が、希望者の割合より低くなっている。**仕事からの収入**については、実際の収入が最低限希望する収入に比べて、「定年・退職時と同程度」、「定年・退職時の 8～9 割程度」の割合が少ないのに対し、「定年・退職時の 4～5 割程度」、「定年・退職時の 3 割以下」の割合が多く、希望する収入より低くなっている。これらは、年齢階級別・男女別にみてもほぼ同様である。(p. 20～22、表 16、表 17、表 18)
雇用希望者の就業形態については、正社員を希望する者が 44.2%で最多だが、実際に正社員の者は 18.6%でかなり少ない。**勤務形態**についても、フルタイムを希望する者が 51.6%で最多だが、実際にフルタイムの者は 33.2%とかなり少ない。(p. 23～24、表 19、表 20)
- **定年制に関する要望**については、「60 歳より上の定年年齢が望ましい」が過半数を占め、「定年廃止が望ましい」も 2 割弱ある。「60 歳より上の定年年齢が望ましい」と回答した者の考える望ましい定年年齢は、「65 歳」が 8 割程度を占め、それより上も 1 割程度ある。これは、年齢階級別・男女別にみてもほぼ同様である。(p. 25、表 21)

I 調査の概要

急速な高齢化社会の中で、働く意欲と能力のある高齢者が、その能力を発揮して働き続けられる就業環境の整備を図ることは喫緊の課題である。そこで、本調査では、高齢者の就業・不就業や生活の実態、就業や生活に関する意識を調査し、今後の高齢者に対する労働政策立案のための基礎資料を提供することを目的とする。

なお、高齢者に係る同趣旨の個人調査については、厚生労働省の「高年齢者就業実態調査」において平成16年まで実施されていたところであり、本調査を行うに当たって一部参考とした。

1. 調査対象： 全国の55～69歳の男女個人
2. 標本数： 5,000 対象
3. 標本抽出法： 住民基本台帳に基づく層化二段系統抽出法
4. 調査方法： 訪問留置き法
5. 調査期間： 2009年8月20日から9月15日。調査時点は2009年8月1日現在。
6. 有効回収数 3,602 有効回収率 72.0%
7. 回答者の属性

回答者の属性は、回答者の実数ベースでは左下表の通りで、住民基本台帳に基づく復元母集団ベースでは右下表の通りである。本調査では、実数ベースの回答数に各標本ごとに定められる抽出率の逆数を乗じて復元母集団ベースの数値を算出し、これにより分析を行った。

なお、調査対象の抽出時点では69歳であったが、調査時点では70歳に達した者が21人おり、65～69歳に含まれている。

(回答者実数ベース)

	人数 (人)	割合 (%)
男性 55～69 歳	1,764	49.0
55～59 歳	600	16.6
60～64 歳	625	17.4
65～69 歳	539	15.0
女性 55～69 歳	1,838	51.0
55～59 歳	595	16.5
60～64 歳	632	17.5
65～69 歳	611	17.0
総 数	3,602	100.0

(復元母集団ベース)

	人数 (千人)	割合 (%)
男性 55～69 歳	12,946	48.7
55～59 歳	4,406	16.6
60～64 歳	4,586	17.2
65～69 歳	3,954	14.9
女性 55～69 歳	13,642	51.3
55～59 歳	4,376	16.5
60～64 歳	4,685	17.6
65～69 歳	4,582	17.2
総 数	26,589	100.0

(注) 表中、端数処理の関係で、合計値とその内訳を合計した数値とが一致しない場合がある (以下、同様)。

8. その他

本調査は、プロジェクト研究「人口減少下における全員参加型社会の在り方に関する調査研究」のサブ研究「高齢者の就労促進に関する研究」の調査という位置づけであり、本調査結果をまとめた調査シリーズの他、本調査を用いたより詳細な分析については、別途、労働政策研究報告書としてとりまとめを行う。

Ⅱ 調査結果の概要

1. 高齢者の就業の状況

55歳以上69歳までの高齢者のうち、平成21年7月中に収入になる仕事をした者（以下「就業者」という。）は60.0%で、男性が72.2%、女性が48.5%となっている。年齢階級別に就業者の割合を見ると、60～64歳は60.7%、65～69歳は42.7%で、男性では60～64歳が75.1%、65～69歳が52.0%、女性では60～64歳が46.7%、65～69歳が34.7%となっている。

一方、平成21年7月中に収入になる仕事をしなかった者（以下「不就業者」という。）を年齢階級別に見ると、60～64歳は39.3%、65～69歳は57.3%で、男性では60～64歳が24.9%、65～69歳が48.0%、女性では60～64歳が53.3%、65～69歳が65.3%となっている。

また、不就業者のうち、仕事をしたいと思いながら仕事に就けなかった者（以下「就業希望者」という。）の割合は、男性が45.8%、女性が23.3%で、年齢階級別に見ると、男性の60～64歳は46.1%、65～69歳は36.9%、女性の60～64歳は22.4%、65～69歳は16.9%となっている。（表1）

表1 高齢者の就業状況（平成21年7月中、無回答：略）

（単位：%）

区 分	高齢者 総数	就業者 (収入になる 仕事をした者)	不就業者 (収入になる 仕事をし なかった者)	うち 就業希望者 (仕事をしたいと思 いながら仕事に就けな かった者)	うち 非就業希望者 (仕事をしたいと思 わなかった者)
総数	100.0	60.0	40.0 (100.0)	12.4 (30.9)	27.4 (68.4)
〔年代別3区分〕					
55～59歳	100.0	76.1	23.9 (100.0)	11.3 (47.3)	12.4 (52.0)
60～64歳	100.0	60.7	39.3 (100.0)	11.7 (29.8)	27.5 (70.0)
65～69歳	100.0	42.7	57.3 (100.0)	14.1 (24.6)	42.6 (74.3)
〔性・年代別*3区分〕					
男性(計)	100.0	72.2	27.8 (100.0)	12.7 (45.8)	15.0 (54.0)
55～59歳	100.0	87.2	12.8 (100.0)	9.6 (75.2)	3.0 (23.4)
60～64歳	100.0	75.1	24.9 (100.0)	11.5 (46.1)	13.4 (53.9)
65～69歳	100.0	52.0	48.0 (100.0)	17.7 (36.9)	30.3 (63.1)
女性(計)	100.0	48.5	51.5 (100.0)	12.0 (23.3)	39.0 (75.8)
55～59歳	100.0	64.9	35.1 (100.0)	13.1 (37.2)	21.9 (62.4)
60～64歳	100.0	46.7	53.3 (100.0)	11.9 (22.4)	41.2 (77.3)
65～69歳	100.0	34.7	65.3 (100.0)	11.0 (16.9)	53.1 (81.3)

（注）1. 行中の下段の数値は、不就業者＝100.0とした場合の内訳を表す。

2. 総数について、不就業者＝100.0とした場合の内訳における無回答率は0.7%（下段）

2. 就業者の状況

(1) 従業上の地位

高年齢者について就業者の従業上の地位を見ると、「雇用者」の割合が63.8%で最も多く、次いで「自営業主」が17.8%、「会社経営、役員等」が7.7%となっている。男性では同じ順番で「雇用者」が63.2%、「自営業主」が21.5%、「会社経営、役員等」が10.1%となっている。女性では「雇用者」が64.6%で最も多く、次いで「自営業主」が12.5%、「家業（自家営業）の手伝い」が11.9%となっている。

年齢階級別に見ると、男女ともに「雇用者」が最も多いものの、年齢階級が高くなるほどその割合が減少している。一方、男女ともに「自営業主」、「シルバー人材センターを通じた仕事」及び「家業（自家営業）の手伝い」は年齢階級が高くなるほどその割合が増加している。また、男性では「任意に行う仕事」、女性では「会社経営、役員等」が年齢階級が高くなるほどその割合が増加している。

(表2)。

表2 就業者の従業上の地位 (無回答:略)

(単位: %)

区 分	就業者計	会社、団体などに雇われて仕事をしていた(雇用者)	会社、団体などの役員(会社経営、役員等)であった	商店、工場、農家などの自家営業(自営業主の場合をいいます)	近所の人や会社などに頼まれて、任意に行う仕事をしていた	シルバー人材センターを通じて仕事をしていた	家庭で内職をしていた	家業(自家営業)の手伝いをしていた
総数	100.0	63.8	7.7	17.8	2.3	1.6	0.9	5.7
〔年代別3区分〕								
55～59歳	100.0	73.6	6.4	13.4	1.1	-	0.8	4.5
60～64歳	100.0	62.5	8.3	18.4	3.1	1.5	0.7	5.3
65～69歳	100.0	47.8	9.3	25.0	2.9	4.8	1.3	8.7
〔性・年代別＊3区分〕								
男性(計)	100.0	63.2	10.1	21.5	1.5	2.1	0.1	1.4
55～59歳	100.0	73.7	9.4	16.1	0.4	-	-	0.4
60～64歳	100.0	61.2	10.8	22.0	2.1	1.5	0.4	1.8
65～69歳	100.0	47.1	10.3	30.9	2.5	6.8	-	2.5
女性(計)	100.0	64.6	4.4	12.5	3.4	1.0	1.9	11.9
55～59歳	100.0	73.4	2.5	9.7	2.2	-	1.8	10.0
60～64歳	100.0	64.6	4.3	12.7	4.8	1.6	1.2	10.8
65～69歳	100.0	48.7	8.0	17.3	3.6	2.2	3.0	16.8

(注) 1. 総数について無回答率は0.2%

2. 「-」は該当者がいないもの（以下、同様）

(2) 就業理由

① 就業理由（複数回答）

就業者について仕事をした理由（複数回答）を見ると、「経済上の理由」が最も多く72.8%、次いで「いきがい、社会参加」が22.3%、「時間に余裕」が11.8%、「健康上の理由」が11.4%となっている。男性では多い順に「経済上の理由」が78.7%、「いきがい、社会参加」が19.6%、「健康上の理由」が10.8%となっており、女性では多い順に「経済上の理由」が64.4%、「いきがい、社会参加」が26.1%、「時間に余裕」が17.8%となっている。

年齢階級別に見ると、「経済上の理由」は男女ともに年齢階級が高くなるほどその割合は減少している。一方、「健康上の理由」及び「頼まれたから」は、年齢階級が高くなるほどそれぞれ割合が男女ともに増加している。「いきがい、社会参加」及び「時間に余裕」は、男性では年齢階級が高くなるほどその割合が増加しているが、女性では相対的に横ばいに近い。(表3)

また、「経済上の理由」の具体的な理由を見ると、各年齢階級、男女いずれも「自分と家族の生活を維持」の割合が最も多くなっている。(表4)

表3 就業した理由 (複数回答、無回答:略) (単位:%)

区 分	就業者計	経済上の理由	健康上の理由(健康に良いからなど)	いきがい、社会参加のため	頼まれたから	時間に余裕があるから	その他
総数	100.0	72.8	11.4	22.3	9.4	11.8	5.0
〔年代別3区分〕							
55～59歳	100.0	82.2	5.2	21.1	4.6	7.7	4.8
60～64歳	100.0	72.3	13.3	21.9	9.4	12.7	5.1
65～69歳	100.0	56.1	19.7	25.0	18.1	18.1	5.2
〔性・年代別*3区分〕							
男性(計)	100.0	78.7	10.8	19.6	8.5	7.6	3.9
55～59歳	100.0	88.4	3.5	17.8	2.8	2.0	4.1
60～64歳	100.0	78.8	13.5	18.4	9.2	8.2	4.1
65～69歳	100.0	60.1	19.8	24.9	18.1	17.2	3.0
女性(計)	100.0	64.4	12.2	26.1	10.6	17.8	6.6
55～59歳	100.0	73.9	7.6	25.6	7.0	15.5	5.9
60～64歳	100.0	62.1	12.8	27.4	9.7	19.7	6.6
65～69歳	100.0	50.8	19.7	25.2	18.2	19.2	8.1

(注) 総数について無回答率は0.8%

表4 経済上の理由(具体的な理由) (無回答:略) (単位:%)

区 分	経済上の理由 該当者	自分と家族の生活を維持するため	生活水準を上げるため	その他
総数	100.0	88.4	7.4	3.2
〔年代別3区分〕				
55～59歳	100.0	92.6	4.4	2.1
60～64歳	100.0	86.1	8.8	3.7
65～69歳	100.0	81.5	12.5	5.3
〔性・年代別*3区分〕				
男性(計)	100.0	91.7	5.3	2.0
55～59歳	100.0	96.1	2.2	1.2
60～64歳	100.0	90.8	5.5	1.9
65～69歳	100.0	81.3	13.1	4.4
女性(計)	100.0	82.8	11.1	5.3
55～59歳	100.0	87.0	8.0	3.6
60～64歳	100.0	76.8	15.5	7.2
65～69歳	100.0	81.7	11.7	6.6

(注) 総数について無回答率は1.0%

② 主な就業理由

就業者について仕事をした主な理由を見ると、「経済上の理由」が最も多く 67.4%、次いで「いきがい、社会参加のため」が 11.1%、「頼まれたから」が 5.5%、「時間に余裕」が 4.6%となっており、①の場合と比べ「健康上の理由」と「時間に余裕」の割合の低下が比較的大きい。

年齢階級別に見ると、「経済上の理由」は年齢階級が高くなるほど割合が減少しているのに対し、「健康上の理由」及び「頼まれたから」は年齢階級が高くなるほど男女ともに割合が増加している。「いきがい、社会参加」及び「時間に余裕」は、男性では年齢階級が高くなるほど段階的にその割合が増加しているが、女性の場合は横ばいに近い。(表 5)

表 5 主な就業理由 (無回答:略) (単位: %)

区 分	就業者 計	経済上の 理由	健康上の 理由(健康に良 いからなど)	いきが い、社会 参加のため	頼まれた から	時間に余 裕がある から	その他
総数	100.0	67.4	4.3	11.1	5.5	4.6	4.2
〔年代別 3 区分〕							
55～59 歳	100.0	77.6	1.2	9.0	2.3	2.8	4.4
60～64 歳	100.0	66.9	4.8	10.9	5.5	5.3	3.8
65～69 歳	100.0	49.4	9.4	15.3	11.4	6.8	4.4
〔性・年代別 * 3 区分〕							
男性(計)	100.0	73.5	3.6	8.8	5.0	3.1	3.2
55～59 歳	100.0	84.7	0.8	6.5	1.2	0.6	3.9
60～64 歳	100.0	73.2	4.4	7.6	5.5	3.8	2.9
65～69 歳	100.0	53.0	7.5	15.3	11.2	6.7	2.3
女性(計)	100.0	58.7	5.4	14.3	6.3	6.7	5.7
55～59 歳	100.0	68.0	1.8	12.3	3.9	5.7	5.1
60～64 歳	100.0	56.9	5.3	16.2	5.6	7.7	5.3
65～69 歳	100.0	44.5	12.0	15.4	11.7	7.0	7.2

(注) 総数について無回答率は 2.8%

3. 雇用者の状況

(1) 雇用期間

就業者のうち雇用者について雇用期間を見ると、「特に定められていない」の割合が 61.9%で最も多く、次いで「1 年」が 16.5%、「1 年を超え 5 年以内」が 10.1%となっている。男性では多い順に「特に定められていない」が 59.5%、「1 年」が 17.1%、「1 年を超え 5 年以内」が 13.0%となっており、女性では多い順に「特に定められていない」が 65.4%、「1 年」が 15.5%、「1 ヶ月を超え 1 年未満」が 8.1%となっている。

年齢階級別に見ると、男性は 60～64 歳、65～69 歳のいずれの年齢階級も 55～59 歳に比べ「特に定められていない」が大幅に下回り、「1 年」が大幅に上回っている。一方、女性は年齢階級によ

る大幅な変化は見られない。(表6)

表6 雇用者の雇用期間 (無回答:略) (単位:%)

区 分	雇用者 計	特に定め られてい ない	1年を超え5 年以内の雇 用期間	1年の雇 用期間	1ヶ月を超え 1年未満の 雇用期間	1ヶ月以内 の雇用期間 (日雇いを含 む)
総数	100.0	61.9	10.1	16.5	7.0	0.5
〔年代別3区分〕						
55～59歳	100.0	72.9	9.2	8.7	4.1	0.4
60～64歳	100.0	50.1	12.9	24.7	8.8	0.2
65～69歳	100.0	55.0	7.2	21.8	11.8	1.2
〔性・年代別*3区分〕						
男性(計)	100.0	59.5	13.0	17.1	6.3	0.5
55～59歳	100.0	75.7	11.8	5.3	2.2	-
60～64歳	100.0	43.7	16.2	28.5	8.8	0.3
65～69歳	100.0	46.3	9.4	26.8	12.7	2.1
女性(計)	100.0	65.4	6.2	15.5	8.1	0.5
55～59歳	100.0	69.1	5.6	13.2	6.6	0.9
60～64歳	100.0	59.6	8.0	18.9	8.8	-
65～69歳	100.0	65.9	4.4	15.6	10.6	-

(注) 総数について無回答率は4.0%

(2) 勤務形態

就業者のうち雇用者について勤務形態を見ると、「普通勤務」が56.5%、「1日当たりの労働時間が短い」が13.5%、「1日当たりの労働時間が短く、1週間当たりの勤務日数も少ない」が11.9%となっている。男性では、「普通勤務」が70.6%と圧倒的で、「1週間当たりの勤務日数が少ない」が8.5%、「1日当たりの労働時間が短い」が6.4%となっている。女性では、「普通勤務」が36.9%と最多ではあるが2位以下との差が縮まり、「1日当たりの労働時間が短い」が23.4%、「1日当たりの労働時間が短く、1週間当たりの勤務日数も少ない」が20.3%となっている。

年齢階級別に見ると、男女とも年齢階級が高くなるほど、「普通勤務」は減少し、他方、「1週間当たりの勤務日数が少ない」及び「1日当たりの労働時間が短く、1週間当たりの勤務日数も少ない」は増加している。「1日当たりの労働時間が短い」は、男性では年齢階級が高くなるほど増加しているが、女性では横ばいとなっている。

「フレックス勤務」は男性の60歳以上や女性では4～6%台の利用率であり、「在宅勤務」は男女とも僅少である。(表7)

表7 雇用者の勤務形態

(無回答:略)

(単位:%)

区 分	雇用者 計	普通勤務 (フルタイム勤務)	普通勤務 より1日当 たりの労働時間が 短い	普通勤務 より1週間 当たりの勤務日数 が少ない	普通勤務より1日当 たりの労働時間が短く、1週 間当たりの勤務日数も 少ない	勤務日と時間 帯を弾力的に設定で きるフレックス勤務	在宅勤務	その他
総数	100.0	56.5	13.5	8.3	11.9	3.8	0.4	2.1
〔年代別3区分〕								
55～59歳	100.0	69.0	11.1	4.1	7.8	2.4	0.1	1.6
60～64歳	100.0	53.0	14.7	10.9	11.0	5.5	0.4	1.7
65～69歳	100.0	28.2	17.9	14.7	25.2	4.1	0.8	4.2
〔性・年代別*3区分〕								
男性(計)	100.0	70.6	6.4	8.5	5.8	2.9	0.2	2.2
55～59歳	100.0	86.8	2.0	2.9	1.4	1.2	-	2.2
60～64歳	100.0	65.0	9.3	11.8	4.0	4.7	0.7	1.4
65～69歳	100.0	35.6	12.9	17.5	22.4	4.1	-	4.1
女性(計)	100.0	36.9	23.4	8.0	20.3	4.9	0.5	1.9
55～59歳	100.0	44.9	23.5	5.8	16.5	4.0	0.4	0.7
60～64歳	100.0	34.9	22.7	9.5	21.3	6.8	-	2.2
65～69歳	100.0	18.9	24.2	11.2	28.7	4.0	1.8	4.5

(注) 総数について無回答率は3.7%

4. 不就業者の状況

(1) 就業希望者の仕事に就けなかった理由

不就業者のうち就業希望者について仕事に就けなかった主な理由を見ると、「適当な仕事が見つからなかった」が41.4%と最も多く、次いで「あなたの健康上の理由」が27.0%、「家族の健康上の理由」が13.2%となっている。男性では多い順に「適当な仕事が見つからなかった」が47.7%、「あなたの健康上の理由」が28.9%、「請負や内職の仕事の注文がこなかった」が8.8%となっている。女性では多い順に「適当な仕事が見つからなかった」が35.1%、「あなたの健康上の理由」が25.1%、「家族の健康上の理由」が20.4%で、「家庭の事情」も13.2%と10%を超えている。

年齢階級別に見ると、男女ともいずれの年齢階級でも「適当な仕事が見つからなかった」が最も多いが、特に60～64歳でその割合が高くなっている。「あなたの健康上の理由」は男性が55～59歳で最も割合が高いのに対して女性では年齢階級が高くなるほど増加している。(表8)

表8 仕事につけなかった主な理由 (無回答:略)

(単位: %)

区 分	不就業者 のうち 就業希望 者計	適当な仕 事がみつ からなか った	起業・開 業の準備 中であっ た	請負や内 職の仕事 の注文が こなかっ た	あなたの 健康上 の理由	家族の健 康上の理 由(介護 等)	家庭の事 情(家族 の健康上 の理由を 除く。家事 など)	その他
総数	100.0	41.4	0.7	6.0	27.0	13.2	7.4	2.7
〔年代別3区分〕								
55～59歳	100.0	36.6	1.5	4.1	26.7	18.9	10.8	-
60～64歳	100.0	50.2	0.7	4.7	22.9	11.1	5.7	3.3
65～69歳	100.0	37.5	-	8.8	30.9	10.2	6.2	4.5
〔性・年代別*3区分〕								
男性(計)	100.0	47.7	1.4	8.8	28.9	6.0	1.7	3.4
55～59歳	100.0	42.8	3.6	3.9	35.7	7.1	3.5	-
60～64歳	100.0	56.9	1.5	8.2	23.7	4.0	-	4.2
65～69歳	100.0	43.7	-	12.1	28.7	6.7	1.9	4.8
女性(計)	100.0	35.1	-	3.3	25.1	20.4	13.2	2.1
55～59歳	100.0	31.9	-	4.2	20.0	27.7	16.1	-
60～64歳	100.0	43.9	-	1.4	22.1	17.8	11.1	2.4
65～69歳	100.0	29.0	-	4.2	34.0	15.1	12.1	4.1

(注) 総数について無回答率は1.5%

(2) 就業希望者の希望する働き方

適当な仕事が見つからなかった就業希望者について最も希望する働き方を見ると、「短時間勤務で会社などに雇われたい」が48.4%で最も多く、次いで「普通勤務で会社などに雇われたい」が33.0%、「近所の人や会社などに頼まれて任意に行う仕事をしたい」が9.8%となっている。男性では「普通勤務で会社などに雇われたい」が最も多くなって45.5%、次いで僅差で「短時間勤務で会社などに雇われたい」が41.7%と続き、「近所の人や会社などに頼まれて任意に行う仕事をしたい」は6.4%と激減する。女性では「短時間勤務で会社などに雇われたい」が圧倒的で57.7%を占め、次いで「普通勤務で会社などに雇われたい」が15.8%、「近所の人や会社などに頼まれて任意に行う仕事をしたい」が14.4%となっている。

年齢階級別に見ると、男性では55～59歳は「普通勤務で会社などに雇われたい」が84.7%と最も多いが、60～64歳、65～69歳は「短時間勤務で会社などに雇われたい」がそれぞれ50.6%、48.5%と最も多くなっている。女性はいずれの年齢階級でも「短時間勤務で会社などに雇われたい」が最も多く、年齢階級が高くなるほど「近所の人や会社などに頼まれて任意に行う仕事をしたい」が増加し65～69歳では26.4%に達している。(表9)

表9 最も希望する働き方 (無回答:略)

(単位:%)

区 分	適当な仕事が見つからなかった 就業希望者計	普通勤務 (フルタイム勤務)で 会社などに雇われたい	短時間勤務で 会社などに雇われたい(日 数が少ない、 1日の労働時間 が短いなど)	近所の人 や会社な どに頼ま れたりし て、任意 に行う仕 事をし たい	家庭で 内職を したい	自分で 事業を したい	その他
総数	100.0	33.0	48.4	9.8	2.3	1.2	1.1
〔年代別3区分〕							
55～59歳	100.0	50.3	42.9	2.3	2.7	-	-
60～64歳	100.0	33.8	50.4	6.6	2.6	2.9	1.2
65～69歳	100.0	18.1	50.4	19.6	1.5	-	1.8
〔性・年代別＊3区分〕							
男性(計)	100.0	45.5	41.7	6.4	0.8	0.8	1.0
55～59歳	100.0	84.7	15.3	-	-	-	-
60～64歳	100.0	43.0	50.6	-	2.0	2.2	-
65～69歳	100.0	24.8	48.5	16.4	-	-	2.7
女性(計)	100.0	15.8	57.7	14.4	4.4	1.6	1.1
55～59歳	100.0	16.1	70.4	4.5	5.4	-	-
60～64歳	100.0	22.5	50.2	14.6	3.4	3.8	2.7
65～69歳	100.0	4.1	54.5	26.4	4.8	-	-

(注) 総数について無回答率は4.3%

5. 高齢者の生活、年金受給等の状況

(1) 生活の主な収入源

生活の主な収入源を見ると、「あなたの賃金等収入」が28.8%で最も多く、次いで「あなたの年金収入」が17.6%、「配偶者の年金収入」が16.8%、「配偶者の賃金等収入」が15.8%、「自営業などの事業収入」が9.5%となっている。男性では「あなたの賃金等収入」が47.6%と半数近くを占め、次いで「あなたの年金収入」が27.3%、「自営業などの事業収入」が10.8%で、他は僅少となっている。女性では「配偶者の年金収入」が31.9%と最も多く、次いで「配偶者の賃金等収入」が27.7%、「あなたの賃金等収入」が11.0%、「あなたの年金収入」が8.4%、「自営業などの事業収入」が8.3%で、他は僅少となっている。

年齢階級別に見ると、男女とも年齢階級が高くなるほど「あなたの賃金等収入」が減少し、逆に「あなたの年金収入」が増加しており、女性では特に「配偶者の年金収入」が増加している。男性では「あなたの賃金等収入」が55～59歳では74.5%で圧倒的だが60～64歳になると5割を下回り、65～69歳では首位が「あなたの年金収入」に入れ替わっている。女性では55～59歳では「配偶者の賃金等収入」が最も多いが60歳以上では「配偶者の年金収入」が最も多くなっている。「自営業などの事業収入」は男女ともほぼ横ばいで10%前後を推移している。(表10)

表 10 生活の主な収入源 (無回答:略)

(単位: %)

区 分	対象と なる 高年齢 者	あなたの 賃金等 収入	配偶者の 賃金等 収入	子供の賃 金等収入	自営業な どの事業 収入	財産収入 (家賃・利 子・配当金 など)	あなたの 年金収 入	配偶者の 年金 収入
総数	100.0	28.8	15.8	2.7	9.5	1.6	17.6	16.8
〔年代別3区分〕								
55～59歳	100.0	45.4	25.6	1.7	9.7	1.1	1.2	6.0
60～64歳	100.0	29.7	15.7	1.5	9.6	1.4	15.3	19.6
65～69歳	100.0	10.9	5.8	5.0	9.3	2.5	36.9	24.7
〔性・年代別＊3区分〕								
男性(計)	100.0	47.6	3.3	1.5	10.8	1.6	27.3	0.8
55～59歳	100.0	74.5	3.1	1.0	9.8	1.2	0.7	0.1
60～64歳	100.0	48.4	4.3	1.1	12.7	1.6	23.3	0.8
65～69歳	100.0	16.7	2.4	2.5	9.9	2.0	61.4	1.6
女性(計)	100.0	11.0	27.7	3.8	8.3	1.7	8.4	31.9
55～59歳	100.0	16.1	48.3	2.3	9.6	0.9	1.8	12.0
60～64歳	100.0	11.3	26.9	1.9	6.5	1.3	7.6	38.1
65～69歳	100.0	5.9	8.7	7.2	8.8	2.9	15.7	44.6

(注) 1. 世帯の収入源(複数回答)について回答した高年齢者を対象としている。

2. 総数について無回答率は1.2%

(続き)

区 分	対象と なる 高年齢 者	親族の 年金収 入	仕送り	貯蓄の取 り崩し	雇用保険	退職金の 取り崩し	生活保 護	その他
総数	100.0	1.3	0.2	1.8	0.7	0.9	0.8	0.4
〔年代別3区分〕								
55～59歳	100.0	2.2	0.2	2.6	0.9	1.5	1.0	0.2
60～64歳	100.0	0.9	0.1	2.0	1.0	0.9	0.3	0.7
65～69歳	100.0	0.7	0.2	0.7	0.2	0.2	1.2	0.2
〔性・年代別＊3区分〕								
男性(計)	100.0	0.8	0.1	1.8	1.1	0.9	0.9	0.1
55～59歳	100.0	1.8	-	2.9	1.5	1.5	1.5	-
60～64歳	100.0	0.5	0.3	2.3	1.5	1.0	0.4	0.3
65～69歳	100.0	0.2	-	-	0.2	0.2	0.8	-
女性(計)	100.0	1.7	0.3	1.8	0.3	0.8	0.7	0.6
55～59歳	100.0	2.7	0.4	2.3	0.4	1.5	0.6	0.5
60～64歳	100.0	1.3	-	1.8	0.5	0.8	0.2	1.0
65～69歳	100.0	1.2	0.4	1.3	0.1	0.2	1.5	0.3

(2) 年金受給状況

公的年金（国民年金、厚生年金、共済年金）の受給状況を見ると、年金を受給している割合は男性が 51.7%、女性が 53.2%となっている。

年齢階級別に見ると、男性は年金を受給している割合が 60～64 歳は 63.3%、65～69 歳は 94.6%、女性は年金を受給している割合が 60～64 歳は 61.8%、65～69 歳は 91.4%となっている。

年金を受給している者のうち就業者の割合は男性が 58.7%、女性が 38.8%、一方、年金を受給していない者のうち就業者の割合は男性が 86.6%、女性が 59.6%となっている。

年齢階級別に見ると、年金を受給している者のうち就業者の割合は、男性が 60～64 歳で 69.4%、65～69 歳で 50.8%、女性は 60～64 歳で 43.6%、65～69 歳で 34.3%となっている。年金を受給していない者のうち就業者の割合は、男性が 60～64 歳で 85.5%、65～69 歳で 72.6%、女性は 60～64 歳で 51.8%、65～69 歳で 35.2%となっている。（表 11）

表 11 公的年金（国民年金、厚生年金、共済年金）の受給状況 （無回答：略） （単位：％）

区 分	高年齢者総数	年金を受給している			年金を受給していない		
		うち就業者	うち不就業者		うち就業者	うち不就業者	
〔性・年代別＊3区分〕							
男性(計)	100.0	51.7 (100.0)	30.3 (58.7)	21.4 (41.3)	47.3 [100.0]	41.0 [86.6]	6.3 [13.4]
55～59歳	100.0	1.1 (100.0)	0.3 (26.3)	0.8 (73.7)	96.6 [100.0]	84.6 [87.6]	12.0 [12.4]
60～64歳	100.0	63.3 (100.0)	43.9 (69.4)	19.4 (30.6)	36.4 [100.0]	31.1 [85.5]	5.3 [14.5]
65～69歳	100.0	94.6 (100.0)	48.1 (50.8)	46.5 (49.2)	5.0 [100.0]	3.6 [72.6]	1.4 [27.4]
女性(計)	100.0	53.2 (100.0)	20.6 (38.8)	32.6 (61.2)	45.0 [100.0]	26.8 [59.6]	18.2 [40.4]
55～59歳	100.0	4.1 (100.0)	2.6 (64.4)	1.5 (35.6)	93.5 [100.0]	60.7 [64.9]	32.8 [35.1]
60～64歳	100.0	61.8 (100.0)	26.9 (43.6)	34.9 (56.4)	36.7 [100.0]	19.0 [51.8]	17.7 [48.2]
65～69歳	100.0	91.4 (100.0)	31.4 (34.3)	60.0 (65.7)	7.3 [100.0]	2.6 [35.2]	4.7 [64.8]

（注） 1. 行中の下段の数値は、年金受給者又は年金非受給者＝100.0とした場合の内訳を表す。
2. 男性（計）について無回答率は 1.0%、女性（計）について無回答率は 1.7%

(3) 健康状態、就業の可能性

① 健康状態

高年齢者についてふだんの健康状態を見ると、「大変良い」と「良い」を合計した「良い（計）」の割合が 70.1%で、60～64 歳では 69.8%、65～69 歳では 65.5%となっている。男性は「良い（計）」の割合が 73.1%で、60～64 歳では 71.9%、65～69 歳では 69.3%となっている。女性は「良い（計）」の割合が 67.2%で、60～64 歳では 67.9%、65～69 歳では 62.2%となっている。（表 12）

表 12 ふだんの健康状態 (無回答:略)

(単位: %)

区 分	高齢者総数	大変良い	良い	あまり良くない	良くない	良い(計)	良くない(計)
総数	100.0	7.4	62.7	25.2	4.4	70.1	29.6
〔年代別3区分〕							
55～59歳	100.0	7.8	66.9	21.2	3.9	74.8	25.1
60～64歳	100.0	7.3	62.5	26.0	3.7	69.8	29.7
65～69歳	100.0	7.1	58.5	28.4	5.8	65.5	34.2
〔性・年代別*3区分〕							
男性(計)	100.0	8.0	65.0	22.5	4.1	73.1	26.6
55～59歳	100.0	7.3	70.4	19.4	2.9	77.7	22.3
60～64歳	100.0	9.0	62.9	23.8	3.6	71.9	27.5
65～69歳	100.0	7.8	61.6	24.4	6.0	69.3	30.5
女性(計)	100.0	6.8	60.4	27.7	4.8	67.2	32.5
55～59歳	100.0	8.4	63.4	23.0	4.9	71.8	27.9
60～64歳	100.0	5.7	62.2	28.1	3.8	67.9	31.8
65～69歳	100.0	6.5	55.8	31.8	5.6	62.2	37.5

(注) 1. 「良い(計)」は「大変良い」と「良い」の合計、「良くない(計)」は「あまり良くない」と「良くない」の合計。

2. 総数について無回答率は0.3%

② 就業の可能性

高齢者について肉体的な面から見た就業の可能性を見ると、「職場・勤務の条件によっては就業可能である」が43.1%で最も多く、次いで「フルタイムで働くことが可能である」が37.5%、「働くことはできない」が17.5%となっている。男性では「フルタイムで働くことが可能である」が54.9%で最も多く、次いで「職場・勤務の条件によっては就業可能である」が36.3%、「働くことはできない」が7.4%となっている。女性では「職場・勤務の条件によっては就業可能である」が49.6%で最も多く、次いで「働くことはできない」が27.1%、「フルタイムで働くことが可能である」が20.9%となっている。

年齢階級別に見ると、男女とも、年齢階級が高まるほど「フルタイムで働くことが可能である」が減少し、一方、「働くことはできない」が増加している。男性では55～59歳、60～64歳では「フルタイムで働くことが可能である」が最も多いが、65歳～69歳では「職場・勤務の条件によっては就業可能である」が最も多くなっている。女性ではどの年齢階級でも「職場・勤務の条件によっては就業可能である」が最も多いが、60～64歳で「働くことはできない」が急増、「フルタイムで働くことが可能である」が急減し順位が入れ替わり、65～69歳では「働くことができない」が41.1%とさらに増加して首位の「職場・勤務の条件によっては就業可能である」の45.2%に接近している。

(表 13)

表 13 肉体的な面から見た就業の可能性 （無回答：略） （単位：％）

区 分	高齢者 総数	フルタイムで働くこ とが可能である	職場・勤務の条件によ っては就業可能である	働くことはでき ない
総数	100.0	37.5	43.1	17.5
〔年代別3区分〕				
55～59歳	100.0	54.6	36.2	8.3
60～64歳	100.0	38.3	43.1	16.5
65～69歳	100.0	18.9	50.2	28.1
〔性・年代別＊3区分〕				
男性(計)	100.0	54.9	36.3	7.4
55～59歳	100.0	76.4	19.9	3.5
60～64歳	100.0	57.1	35.0	6.3
65～69歳	100.0	28.5	55.9	13.0
女性(計)	100.0	20.9	49.6	27.1
55～59歳	100.0	32.7	52.6	13.2
60～64歳	100.0	19.9	51.1	26.5
65～69歳	100.0	10.7	45.2	41.1

（注）総数について無回答率は 1.9％

（４）引退時期

① 引退したい年齢を考えているか

就業からの引退について見ると、多い順に「引退を考えたことがある」割合が 34.8％、「年齢に関係なくいつまでも働きたい」が 30.3％、「すでに仕事を辞めている」が 27.9％となっている。男性では「引退を考えたことがある」が 43.8％、「年齢に関係なくいつまでも働きたい」が 33.2％、「すでに仕事を辞めている」が 18.7％となっており、女性では「すでに仕事を辞めている」が 36.6％で最も多く、次いで「年齢に関係なくいつまでも働きたい」が 27.5％、「引退を考えたことがある」が 26.2％となっている。

年齢階級別に見ると、男女とも、年齢階級が高くなるほど「引退を考えたことがある」及び「年齢に関係なくいつまでも働きたい」割合が減少し、「すでに仕事を辞めている」割合が増加している。男性では 55～59 歳、60～64 歳では「引退を考えたことがある」が大差で最も多いが、65～69 歳では多い順に「すでに仕事を辞めている」、「引退を考えたことがある」、「年齢に関係なくいつまでも働きたい」となり、三者はほぼ横並びとなっている。女性では 55～59 歳では「引退を考えたことがある」が最も多いが、60～64 歳、65～69 歳では順位が大きく入れ替わり、多い順に「すでに仕事を辞めている」、「年齢に関係なくいつまでも働きたい」、「引退を考えたことがある」となっている。

「引退を考えたことがある」者のうち、希望の引退時期を見ると、「65～69 歳まで働きたい」割合が最も多く 46.7％、次いで「70 歳以上まで働きたい」が 31.4％、「60～64 歳まで働きたい」が 19.1％となっている。男性では多い順に「65～69 歳まで働きたい」が 47.5％、「70 歳以上まで働きたい」が 34.4％、「60～64 歳まで働きたい」が 16.6％となっており、女性では多い順に「65～69 歳まで働きたい」が 45.5％、「70 歳以上まで働きたい」が 26.9％、「60～64 歳まで働きたい」が 22.8％となっている。

年齢階級別に見ると、男女とも年齢階級が高くなるほど、「60～64 歳まで働きたい」割合が減少

し、「70 歳以上まで働きたい」割合が増加している。

「年齢に関係なくいつまでも働きたい」を含めると、「65 歳以上まで働きたい」割合が 57.5%、特に男性では 69.1%に達している。(表 14)

表 14 収入になる仕事を辞めたいと考えている年齢 (無回答:略) (単位:%)

区 分	高年齢 者総数	引退を考 えたこと がある	働いていたい年齢				年齢に関 係なくい つまでも 働きたい	すでに仕 事を辞め ている	仕事につ いたこと がない
			60歳未 満	60～64 歳	65～69 歳	70歳以 上			
総数	100.0	34.8 (100.0)	0.6 (1.8)	6.6 (19.1)	16.3 (46.7)	10.9 (31.4)	30.3	27.9	3.3
〔年代別3区分〕									
55～59歳	100.0	44.2 (100.0)	1.5 (3.4)	13.6 (30.7)	23.0 (52.0)	5.9 (13.4)	35.5	15.7	2.2
60～64歳	100.0	35.8 (100.0)	0.2 (0.5)	4.5 (12.7)	20.4 (56.9)	10.2 (28.6)	29.4	27.5	3.5
65～69歳	100.0	23.9 (100.0)	0.3 (1.1)	1.7 (7.2)	4.7 (19.6)	16.8 (70.4)	25.8	40.9	4.2
〔性・年代別＊3区分〕									
男性(計)	100.0	43.8 (100.0)	0.5 (1.2)	7.3 (16.6)	20.8 (47.5)	15.1 (34.4)	33.2	18.7	0.3
55～59歳	100.0	51.8 (100.0)	0.9 (1.7)	13.6 (26.3)	28.5 (55.1)	8.8 (17.0)	38.1	7.8	0
60～64歳	100.0	46.6 (100.0)	0.3 (0.7)	5.7 (12.2)	26.2 (56.2)	14.3 (30.7)	32.8	15.6	0.5
65～69歳	100.0	31.7 (100.0)	0.4 (1.2)	2.2 (6.8)	6.0 (18.8)	22.7 (71.5)	28.2	34.4	0.4
女性(計)	100.0	26.2 (100.0)	0.7 (2.8)	6.0 (22.8)	11.9 (45.5)	7.0 (26.9)	27.5	36.6	6.2
55～59歳	100.0	36.5 (100.0)	2.1 (5.8)	13.5 (36.9)	17.4 (47.8)	3.0 (8.2)	33.0	23.7	4.5
60～64歳	100.0	25.2 (100.0)	- (-)	3.5 (13.8)	14.8 (58.6)	6.2 (24.7)	26.0	39.1	6.5
65～69歳	100.0	17.2 (100.0)	0.1 (0.8)	1.3 (7.8)	3.6 (21.2)	11.8 (68.6)	23.7	46.4	7.4

(注) 1. 行中の下段の数値は、「引退を考えたことがある」=100.0とした場合の内訳を表す。

2. 総数について無回答率は 3.8%

② 考えている引退年齢

「引退を考えたことがある」者の引退希望年齢を子細に見ると、「65 歳」が 41.5%で最も多く、次いで「70 歳」が 27.1%、「60 歳」が 11.8%で、平均 66.0 歳となっている。男性では多い順に「65 歳」が 42.5%、「70 歳」が 29.1%、「60 歳」が 10.2%で、平均 66.3 歳となっている。女性では多い順に「65 歳」が 40.0%、「70 歳」が 23.9%、「60 歳」が 14.4%で、平均 65.5 歳となっている。

年齢階級別に見ると、55～59 歳では、男女とも「65 歳」が最も多くそれぞれ 52.8%、45.3%と

圧倒的で、次は男女とも「60歳」でそれぞれ19.1%、25.6%、3番目が男女とも「70歳」でそれぞれ14.7%、6.9%となっている。60～64歳になると、男女とも依然として「65歳」が最も多くそれぞれ50.0%、53.1%であるが、次は男女とも「70歳」が浮上しそれぞれ29.5%、21.9%で、3番目が男性は「64歳」で4.4%、女性は「63歳」で6.9%となっている。65～69歳になると、男女とも「70歳」が最も多くなりそれぞれ54.5%、61.4%、次が男性では「75歳」が浮上し12.2%、女性では「65歳」で9.6%、3番目は男性では「65歳」で11.1%、女性では「60歳」で6.0%となっている。（表15）

表15 何歳くらいまで働きたいか (無回答:略) (単位:%)

区 分	引退を考えたことがある者	60歳未満	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳	68歳
総数	100.0	1.8	11.8	0.1	1.8	4.2	1.2	41.5	0.5	1.7	2.6
〔年代別3区分〕											
55～59歳	100.0	3.4	21.8	0.3	2.4	5.9	0.3	49.7	0.4	0.6	1.1
60～64歳	100.0	0.5	3.7	-	1.5	4.7	2.8	51.1	0.3	1.7	3.6
65～69歳	100.0	1.1	6.1	-	1.1	-	-	10.5	1.0	3.7	3.5
〔性・年代別*3区分〕											
男性(計)	100.0	1.2	10.2	0.2	1.6	2.7	1.9	42.5	0.4	1.8	2.3
55～59歳	100.0	1.7	19.1	0.5	2.5	3.6	0.6	52.8	0.7	0.3	1.3
60～64歳	100.0	0.7	3.0	-	1.3	3.5	4.4	50.0	-	2.4	3.4
65～69歳	100.0	1.2	6.2	-	0.6	-	-	11.1	0.6	3.6	2.1
女性(計)	100.0	2.8	14.4	-	2.0	6.4	-	40.0	0.7	1.5	3.0
55～59歳	100.0	5.8	25.6	-	2.1	9.2	-	45.3	-	1.0	0.9
60～64歳	100.0	-	5.0	-	1.9	6.9	-	53.1	0.9	0.6	4.0
65～69歳	100.0	0.8	6.0	-	1.8	-	-	9.6	1.8	3.9	5.9

(注) 総数について無回答率は1.1%

(続き)

区 分	引退を考えたことがある者	69歳	70歳	71歳	72歳	73歳	74歳	75歳	76～79歳	80歳以上	平均(歳)
総数	100.0	0.4	27.1	-	0.3	0.3	-	3.1	0.3	0.3	66.0
〔年代別3区分〕											
55～59歳	100.0	0.2	11.5	-	-	-	-	1.5	0.2	0.2	64.2
60～64歳	100.0	0.2	26.8	-	0.3	-	-	1.3	-	0.2	66.3
65～69歳	100.0	0.9	57.2	-	0.8	1.3	-	9.2	1.2	0.7	69.0
〔性・年代別*3区分〕											
男性(計)	100.0	0.5	29.1	-	0.2	0.4	-	4.0	0.4	0.3	66.3
55～59歳	100.0	-	14.7	-	-	-	-	2.0	0.3	-	64.7
60～64歳	100.0	0.4	29.5	-	-	-	-	1.2	-	-	66.4
65～69歳	100.0	1.4	54.5	-	0.8	1.6	-	12.2	1.3	1.1	69.3
女性(計)	100.0	0.3	23.9	-	0.4	0.2	-	1.8	0.2	0.4	65.5
55～59歳	100.0	0.6	6.9	-	-	-	-	0.8	-	0.5	63.4
60～64歳	100.0	-	21.9	-	0.8	-	-	1.4	-	0.6	66.1
65～69歳	100.0	-	61.4	-	0.8	0.8	-	4.5	1.1	-	68.6

6. 定年・退職後の就業希望と就業状況

(1) 定年・退職後の勤務先、仕事からの収入等

55歳当時雇用者であった者について、55歳以降最初の定年・退職後に最も希望する勤務先、仕事内容を見ると、定年・退職時と同じ企業、同じ仕事という者の割合が最も多いが、その実際の（または可能性の高い）状況は希望者の割合より低くなっている。（表16、表17）

55歳以降最初の定年・退職後の仕事からの収入についても、実際の（または可能性の高い）収入は、最低限希望する収入に比べて、定年・退職時と同程度、8～9割程度という者の割合が少ない一方、定年・退職時の4～5割程度、3割以下という者の割合が多く、希望する収入より低くなっている。すなわち、定年・退職時と同程度、8～9割程度という者の割合は、最低限希望する収入で各22.7%、8.8%であるのに対して、実際の（または可能性の高い）収入では各13.7%、6.1%と少ない。一方、定年・退職時の4～5割程度、3割以下という者の割合は、最低限希望する収入で各6.2%、2.2%であるのに対して、実際の（または可能性の高い）収入では各9.3%、5.7%と多い。（表18）

以上の点は、年齢階級別・男女別にみてもほぼ同様である。

表16 定年・退職後の勤務先の希望と状況

（単位：％）

区 分		定年・退職時と同じ 企業等で働く	定年・退職時と違 う企業等で働く	自営業者 として働く	その他	仕事か ら引退	無回答
総数	希望	47.9	16.7	5.3	1.3	15.8	12.9
	状況	28.1	15.9	4.2	2.3	21.0	28.5
[年代別3区分]							
55～59歳	希望	54.6	14.7	5.5	1.3	15.6	8.4
	状況	33.7	11.3	3.6	1.9	15.3	34.2
60～64歳	希望	48.7	17.4	4.7	0.6	13.7	14.9
	状況	31.6	16.0	4.3	2.2	20.3	25.6
65～69歳	希望	39.7	18.3	5.7	2.1	18.5	15.8
	状況	18.1	20.8	4.8	2.9	28.0	25.4
[性・年代別3区分]							
男性(計)	希望	48.5	18.7	6.6	1.5	13.0	11.6
	状況	29.7	18.6	5.2	2.4	16.1	28.0
55～59歳	希望	53.6	15.6	7.5	1.3	14.2	7.8
	状況	34.6	12.3	4.5	1.4	12.9	34.3
60～64歳	希望	50.3	19.0	5.7	1.0	9.9	14.1
	状況	34.8	18.4	5.2	1.7	13.8	26.1
65～69歳	希望	40.5	22.0	6.7	2.4	15.3	13.1
	状況	18.1	25.9	6.2	4.5	22.4	22.9
女性(計)	希望	47.2	13.9	3.4	1.0	19.7	14.7
	状況	26.0	12.1	2.7	2.2	27.7	29.2
55～59歳	希望	55.9	13.4	2.7	1.4	17.4	9.2
	状況	32.4	9.8	2.4	2.7	18.6	34.0
60～64歳	希望	46.3	15.0	3.2	0.0	19.3	16.2
	状況	26.9	12.5	2.9	3.0	29.9	24.9
65～69歳	希望	38.6	13.5	4.4	1.7	22.6	19.2
	状況	18.2	14.3	2.9	0.9	35.1	28.5

(注) 1. 希望：最も希望していた（いる）勤務先、状況：定年・退職後の（最も可能性が高い）勤務先

2. 55歳当時雇用者の者を対象としている。

表 17 定年・退職後の仕事内容の希望と状況 (単位: %)

区 分		定年・退職 時と同じ	定年・退職 時と違う	仕事か ら引退	無回答
総数	希望	38.8	12.1	16.1	33.0
	状況	31.4	13.2	21.0	34.4
[年代別 3 区分]					
55～59歳	希望	40.2	12.2	16.1	31.5
	状況	32.9	10.4	15.4	41.2
60～64歳	希望	42.1	12.0	13.8	32.0
	状況	35.4	13.4	20.3	30.9
65～69歳	希望	33.5	12.0	18.8	35.7
	状況	25.3	16.1	28.0	30.6
[性・年代別 3 区分]					
男性(計)	希望	40.4	14.8	13.2	31.6
	状況	33.4	16.3	16.1	34.2
55～59歳	希望	39.9	14.8	14.7	30.7
	状況	33.8	12.0	12.9	41.3
60～64歳	希望	44.8	14.4	10.1	30.7
	状況	38.5	15.7	13.8	31.9
65～69歳	希望	36.0	15.4	15.1	33.6
	状況	27.0	21.8	22.4	28.8
女性(計)	希望	36.5	8.3	20.2	35.0
	状況	28.6	8.9	27.8	34.7
55～59歳	希望	40.7	8.6	18.0	32.7
	状況	31.7	8.2	18.9	41.1
60～64歳	希望	38.1	8.5	19.3	34.0
	状況	30.8	9.8	29.9	29.4
65～69歳	希望	30.4	7.7	23.6	38.3
	状況	23.1	8.7	35.1	33.0

- (注) 1. 希望: 最も希望していた (いる) 仕事内容、 状況: 定年・退職後の (最も可能性が高い) 仕事内容
 2. 55 歳当時雇用者の者を対象としている。

表 18 定年・退職後の仕事からの収入の希望と状況

(単位: %)

		定年・退職時より多い	定年・退職時と同程度	定年・退職時の8～9割程度	定年・退職時の6～7割程度	定年・退職時の4～5割程度	定年・退職時の3割以下	仕事から引退	無回答
総数	希望	2.8	22.7	8.8	11.3	6.2	2.2	14.7	31.4
	状況	1.8	13.7	6.1	10.2	9.3	5.7	20.6	32.6
[年代別 3 区分]									
55～59歳	希望	4.4	26.7	9.7	9.1	4.4	1.2	14.6	29.9
	状況	2.3	18.2	6.5	10.4	6.1	2.6	14.6	39.3
60～64歳	希望	2.4	23.2	9.4	12.9	5.9	2.5	12.2	31.6
	状況	1.5	12.9	6.0	11.9	10.9	7.3	19.8	29.6
65～69歳	希望	1.4	17.7	7.0	12.0	8.6	3.1	17.4	32.7
	状況	1.5	9.4	5.9	8.1	11.2	7.4	28.2	28.4
[性・年代別 3 区分]									
男性(計)	希望	2.5	20.3	10.4	13.9	8.3	2.9	11.8	30.0
	状況	1.4	11.6	6.3	12.5	12.9	7.1	15.8	32.4
55～59歳	希望	4.4	23.9	11.3	11.0	5.8	1.5	13.5	28.5
	状況	2.0	16.0	7.0	11.6	7.8	3.7	12.1	39.9
60～64歳	希望	1.8	20.3	10.4	16.0	8.4	3.2	8.4	31.3
	状況	1.4	10.1	5.5	15.1	15.5	8.2	13.7	30.5
65～69歳	希望	1.2	15.9	9.2	14.8	10.9	4.0	13.9	30.0
	状況	0.7	8.4	6.5	10.4	15.6	9.6	22.7	26.1
女性(計)	希望	3.1	26.1	6.5	7.7	3.4	1.3	18.6	33.3
	状況	2.3	16.4	5.9	7.1	4.5	3.9	27.1	32.9
55～59歳	希望	4.4	30.5	7.5	6.4	2.5	0.8	16.1	31.8
	状況	2.7	21.2	5.8	8.7	3.9	1.2	18.0	38.5
60～64歳	希望	3.2	27.3	7.8	8.3	2.1	1.3	18.0	32.0
	状況	1.6	17.0	6.7	7.2	4.1	6.1	29.0	28.3
65～69歳	希望	1.6	20.0	4.2	8.6	5.6	1.8	22.0	36.2
	状況	2.4	10.7	5.1	5.2	5.5	4.6	35.1	31.3

(注) 1. 希望: 最低限希望していた(いる)収入のレベル、状況: 定年・退職後の(最も可能性が高い)収入のレベル

2. 55歳当時雇用者の者を対象としている。

(2) 定年・退職後の就業形態、勤務形態

55歳当時雇用者であって55歳以降最初の定年・退職後も雇用者を最も希望していた(いる)者についての希望と実際の状況を比較すると、就業形態については、正社員を希望する者が44.2%で最も多いが、正社員の(または正社員の可能性が高い)者は18.6%で希望者よりかなり少ない。(表19)

勤務形態についても、フルタイムを希望する者が51.6%で最も多いのに対し、フルタイムの(またはフルタイムの可能性が高い)者は33.2%でかなり少ない。(表20)

以上の点は、年齢階級別、また男性についてみても同様である。女性は、正社員を希望する者よりもパート・アルバイトを希望する者が多く、また、フルタイムを希望する者と同程度に短時間・

短日勤務を希望する者が存在するが、いずれも実際の状況は希望より少ない。

表 19 定年・退職後の就業形態の希望と状況

(単位: %)

区 分		正社員	嘱託・契 約社員	パート・ア ルバイト	派遣労 働	その他	雇用以外 の働き方	仕事か ら引退	無回答
総数	希望	44.2	22.7	29.3	0.8	1.1	—	—	1.9
	状況	18.6	22.6	23.1	1.3	1.2	1.0	10.8	21.4
[年代別 3 区分]									
55～59歳	希望	48.2	22.4	26.5	0.4	1.0	—	—	1.4
	状況	21.2	21.6	19.7	0.2	1.2	0.8	5.3	30.1
60～64歳	希望	45.8	20.9	28.9	1.2	1.1	—	—	2.0
	状況	18.0	25.5	23.7	2.3	1.3	1.1	12.2	15.9
65～69歳	希望	36.7	25.2	33.7	0.8	1.2	—	—	2.4
	状況	16.0	20.4	26.9	1.4	1.1	1.1	16.5	16.6
[性・年代別 3 区分]									
男性(計)	希望	54.8	28.2	12.9	1.2	1.2	—	—	1.7
	状況	24.8	30.9	12.9	1.6	1.6	1.0	8.3	18.9
	55～59歳	希望	61.2	8.2	0.8	1.1	—	—	1.6
		状況	27.8	6.4	0.3	1.6	1.1	4.1	29.5
	60～64歳	希望	56.2	12.4	1.7	1.1	—	—	1.4
		状況	25.3	13.7	3.4	1.8	0.6	8.5	11.8
	65～69歳	希望	45.0	19.8	1.0	1.3	—	—	2.3
		状況	20.3	20.2	1.0	1.4	1.5	13.5	14.7
	女性(計)	希望	28.1	54.2	0.3	1.0	—	—	2.2
		状況	9.3	38.5	0.7	0.6	1.0	14.6	25.2
	55～59歳	希望	30.6	51.4	0.0	1.0	—	—	1.2
		状況	12.2	37.8	0.0	0.6	0.4	6.9	30.9
	60～64歳	希望	28.4	56.8	0.4	1.0	—	—	2.9
		状況	5.7	40.5	0.6	0.5	2.0	18.4	22.9
	65～69歳	希望	24.0	55.1	0.5	1.1	—	—	2.6
		状況	9.4	37.2	2.0	0.6	0.5	21.2	19.6

- (注) 1. 希望：最も希望していた（いる）就業形態、 状況：定年・退職後の（最も可能性が高い）就業形態
2. 55歳当時雇用者で定年・退職後も雇用者を最も希望していた（いる）者を対象としている。

表 20 定年・退職後の勤務形態の希望と状況

(単位: %)

区 分		フルタイム	短時間・短日勤務	フレックス勤務	在宅勤務	その他	雇用以外の働き方	仕事から引退	無回答
総数	希望	51.6	27.6	16.1	0.7	0.6	—	—	3.4
	状況	33.2	22.9	8.7	0.4	0.8	0.6	10.8	22.6
[年代別 3 区分]									
55～59歳	希望	52.4	23.7	19.1	0.8	0.9	—	—	3.1
	状況	31.7	19.9	9.4	0.3	1.1	0.8	5.3	31.5
60～64歳	希望	54.4	28.9	14.0	0.5	0.0	—	—	2.2
	状況	39.6	22.9	7.2	0.7	0.4	0.7	12.2	16.3
65～69歳	希望	47.0	31.2	14.8	0.9	0.9	—	—	5.2
	状況	27.2	26.8	9.6	0.2	1.0	0.3	16.2	18.7
[性・年代別 3 区分]									
男性(計)	希望	62.1	19.3	13.7	0.8	0.6	—	—	3.6
	状況	43.4	19.5	7.3	0.5	0.7	0.6	8.1	20.0
55～59歳	希望	62.1	14.1	17.5	1.1	1.3	—	—	4.0
	状況	39.4	14.8	8.0	0.3	1.3	1.1	4.1	31.2
60～64歳	希望	65.8	20.1	11.5	0.7	0.0	—	—	1.8
	状況	52.7	19.6	5.9	1.0	0.0	0.3	8.5	12.1
65～69歳	希望	57.2	25.0	11.7	0.4	0.4	—	—	5.3
	状況	36.4	25.2	8.3	0.0	1.0	0.4	12.6	16.1
女性(計)	希望	35.7	40.1	19.8	0.6	0.6	—	—	3.1
	状況	17.9	28.0	10.8	0.3	0.9	0.6	14.8	26.6
55～59歳	希望	39.1	36.7	21.5	0.4	0.4	—	—	1.9
	状況	21.3	26.9	11.3	0.4	0.8	0.4	6.9	32.0
60～64歳	希望	35.3	43.6	18.1	0.0	0.0	—	—	2.9
	状況	17.8	28.5	9.5	0.0	1.1	1.4	18.4	23.4
65～69歳	希望	31.2	40.9	19.4	1.8	1.6	—	—	5.1
	状況	13.2	29.1	11.7	0.5	1.0	0.0	21.8	22.7

- (注) 1. 希望：最も希望していた（いる）勤務形態、状況：定年・退職後の（最も可能性が高い）勤務形態
 2. 55歳当時雇用者で定年・退職後も雇用者を最も希望していた（いる）者を対象としている。

(3) 定年制に関する要望

さらに、高年齢者全体を対象とした定年制自体についての希望は、現在一般的な定年年齢である 60 歳よりも上の定年年齢が普及するのが望ましいという回答が過半数を占め、定年廃止が普及するのが望ましいという回答も 2 割弱ある。60 歳よりも上の定年年齢が望ましいという回答者の考える望ましい定年年齢については、65 歳という回答が多く 8 割程度を占め、それよりも上という回答も 1 割程度ある。

以上の点は、年齢階級別・男女別にみてもほぼ同様である。(表 21)

表 21 定年制に関する要望

(単位: %)

区 分	今のま までよ い	60歳より 上の定年 年齢	望ましい定年年齢					定年廃 止	無回答
			61～64 歳	65 歳	66～69 歳	70 歳	71 歳以上		
総数	23.5	57.1 (100.0)	(5.6)	(80.0)	(2.2)	(10.0)	(0.5)	17.6	1.8
[年代別 3 区分]									
55～59歳	26.9	51.5 (100.0)	(5.5)	(85.2)	(1.5)	(6.6)	(0.3)	19.8	1.7
60～64歳	24.6	58.1 (100.0)	(6.4)	(78.6)	(3.1)	(9.5)	(0.5)	15.8	1.5
65～69歳	18.6	61.7 (100.0)	(5.0)	(76.9)	(2.0)	(13.3)	(0.7)	17.5	2.2
[性・年代別 3 区分]									
男性(計)	24.4	57.3 (100.0)	(5.6)	(82.4)	(2.2)	(8.0)	(0.4)	16.6	1.7
55～59歳	29.0	49.9 (100.0)	(4.6)	(89.7)	(1.0)	(4.4)	(0.0)	19.4	1.7
60～64歳	27.1	57.0 (100.0)	(6.4)	(81.5)	(2.8)	(5.9)	(0.6)	14.6	1.3
65～69歳	16.1	65.9 (100.0)	(5.7)	(77.1)	(2.5)	(13.2)	(0.6)	15.7	2.3
女性(計)	22.6	56.9 (100.0)	(5.7)	(77.7)	(2.3)	(11.8)	(0.6)	18.7	1.9
55～59歳	24.9	53.1 (100.0)	(6.4)	(81.0)	(1.9)	(8.7)	(0.6)	20.3	1.8
60～64歳	22.2	59.2 (100.0)	(6.3)	(75.9)	(3.3)	(12.8)	(0.3)	16.8	1.8
65～69歳	20.7	58.1 (100.0)	(4.4)	(76.7)	(1.5)	(13.5)	(0.9)	19.0	2.2

(注) 高年齢者全体を対象としている。